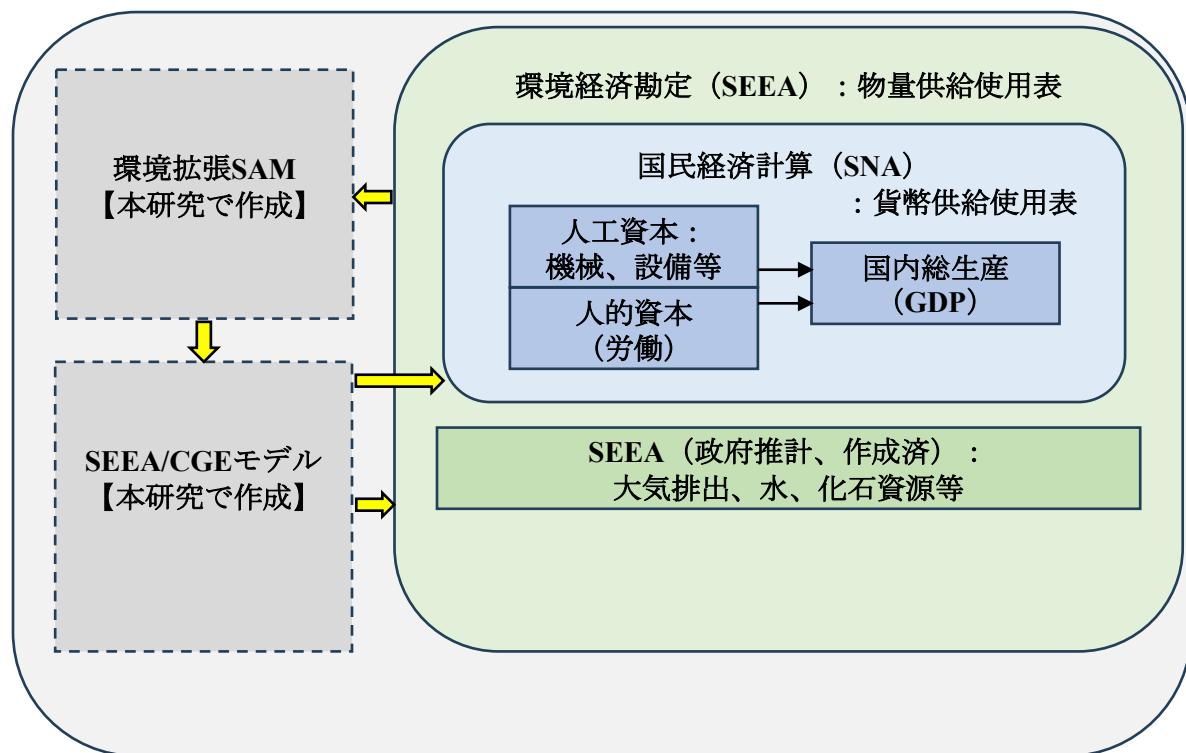


研究課題番号	3MF-2201
研究領域名	資源循環領域
研究課題名	循環経済・脱炭素社会シナリオのSEEA/SDGsによる物的・貨幣的な定量的評価
研究代表者名（所属機関名）	氏川恵次（横浜国立大学）
研究実施期間	2022年度～2024年度
研究キーワード	循環経済、脱炭素社会、環境経済勘定（SEEA）、SDGs、政策評価

研究概要、研究成果等

国際的には、行政ニーズで挙げられていました国連環境計画国際資源パネルの報告書での、循環経済の脱炭素社会の実現に向けた必要性の指摘が先ず挙げられます。加えて国連による国際基準である環境経済勘定（SEEA）を用いて、循環経済や脱炭素政策への応用が、EUを主として進められてきております。

こうした国際的な政策ニーズに対して、本研究は①同じく国際基準であるSNAの環境サテライト勘定であるSEEAの大気排出・エネルギー・物質に関するサブ勘定を構築、②これら諸勘定の供給・使用表等を用いつつ、近年主流化してきた新たな環境拡張産業連関表を推計、③近年国連でも推奨されるSEEA準拠の環境拡張・計算可能一般均衡分析モデルを構築、④同シミュレーションモデルによる、脱炭素社会・資源循環の、国および地域レベルでの統合的なシナリオ分析を試みました。



環境政策等への貢献

○本研究の結果、環境経済勘定（SEEA）の構築に基づいて、環境拡張産業連関表及び計算可能一般均衡分析モデルによる炭素社会・資源循環の統合的なシナリオ分析が可能となりました。

○この結果は、国内では循環型社会形成推進基本計画や地球温暖化対策計画等の計画決定の判断材料として、国外ではIPCC、国際資源パネル等への日本のプレゼンス向上に貢献できるのではないかと考えられます。